

健康フェスタ

11月10日～11日、平成19年度健康フェアが開催されました。10日には、ウイングまつばせ・文化ホールにおいて、健康づくり地域活動や食育学習・食生活改善推進員活動などの発表のほか、落語家林家染二さん「～笑う門には福来たる～思いっきり笑うと元気になります」の講演会などが行われました。

メインアリーナ・視聴覚室では、手作りおもちゃや3B体操・ボディトークの体験コーナーや血圧・体脂肪・ストレス度・体力などの健康チェック、健康や栄養・介護についての相談コーナー、歯の無料検診などが行われ、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の参加者が集いました。



心地よい風を受けながらのウォーキング

屋外ではバームクーヘン作りもありました

チューリップ花作り事業



球根を楽しそうに植える園児たち

11月10日、不知火保育園と松橋保育園の年長組園児と保護者・NPO法人宇城市環境保全隊など約120人が国道266号沿・松火橋附近の野方昇さん所有の土地約400平方メートルにチューリップの球根を植えました。

これは、築港120年を契機に三角西港の世界遺産登録を目指すオランダ・ライデン市と宇城市両市の世界遺産登録への取り組みの支援として、(株)興農園(田中穂積代表取締役社長・熊本市)からチューリップ1万個の寄贈があり、それを環境保全隊が「花いっぱい運動」の一環として、両保育園に協力を呼びかけて実現したものです。また、三角西港・郡浦でも地域ボランティアがチューリップ2千個とピオラなどの花苗を植えました。

第10回うきうきリサイクル祭り

11月11日、宇城クリーンセンターで「第10回うきうきリサイクル祭り」が行われ、受付開始から多くの来場者がありました。毎回、人気のリサイクル抽選品展示場には、不要品から生まれ変わった家具や自転車などがずらりと並べられ、品定めして投票する人が数多く見られました。

フリーマーケット会場では、おもちゃや日用品などが数多く並べられ、売り手と買い手の情報交換や値段交渉でにぎわっていました。



今年もたくさんの出展がありました。

秋の叙勲・褒章が発表されました

市内からは地方自治や消防などの分野で、その進展に長年尽くされた功績により、叙勲に2人、褒章に1人の方が、受章の荣誉に輝かれました。おめでとうございます。(順不同)



【旭日(きよくじつ)小綬章】
元生活改善実行グループ
全国連絡研究会会長
江村英子さん
76歳(小川町)



【藍綬(らんじゆ)褒章】
宇城市消防団長
山本正治さん
54歳(不知火町)



【瑞宝(ずいほう)双光章】
元不知火町助役
山本忠士さん
78歳(不知火町)

松橋小学校が優秀賞

松橋小学校が、時事通信社の第23回教育奨励賞(文部科学省後援)の優秀賞を受賞しました。

10月29日、表彰式が東京・銀座の時事通信ホールで行われ、若林清造同社社長から松橋小学校の岩村俊明校長に表彰状と副賞が贈られました。また、併せて文部科学大臣奨励賞の表彰状が玉井日出夫文部科学審議官から手渡されました。

松橋小は、子どもたちの「話す・聞く」能力アップを目指し「お話道場」や「2人対話」に全校で取り組み、国語力向上の成果が認められました。

教育奨励賞は、創造性豊かでユニークな教育を実践している幼稚園から高校までを表彰。今回は都道府県・政令市の教育委員会などから推薦された58校を対象に審査があり、松橋小はその中で最も高く評価されました。



表彰状と盾に喜びの岩村俊明松橋小学校校長(左)と阿曾田市長(中央)、長田教育長(右)

宇城市小学校音楽会



「アフリカン シンフォニー」を合奏する
青海小学校の児童

11月9日、ウイングまつばせ文化ホールで、宇城市小学校音楽部主催の「第2回宇城市小学校音楽会」が開かれ、市内13小学校の児童550人が元気な歌声や演奏を披露しました。

この音楽会は、市内の小学生に、音楽を通じて交流し合う場と機会とを与え、音楽学習に親しみをもちてもらい、励み合う心情を育てることを目的に行っているものです。

合唱・合奏・アンサンブルなど、児童たちの元気いっぱいの演奏に、大きな拍手が会場いっぱいに響き渡っていました。